

割り算とは何か、掛け算とは何か

$$\overset{\text{メートル}}{6} \text{ m} : \overset{\text{メートル}}{3} \text{ m}$$

$$= 6 : 3$$

$$= 2 : 1$$

前項と後項の両方を後項の3で割る

と

後項を1として、

前項がその3倍であることを表す。

$$6 : 3$$

の前項と後項を

同じ3で割ると、

前項は2となり、

後項は1となる。

$$\begin{array}{r} \boxed{6} : 3 \\ \div) \boxed{3} = \underline{3} \\ \boxed{2} : 1 \end{array}$$

前項の部分だけを見せたのが、

比を基本とする考え方から見る

わりざんの世界です。

このように考えることにより、

隠れていた1が見えてきます。

割り算とは何か、掛け算とは何か

かけざんはどうか、

を考え直してみよう。

1本が3円のエンピツ
2本の値段は何円か。

これを比で表すと、

$$\begin{aligned} & 3 \text{ 円} : (\square) \\ = & 1 : \square 2 \\ = & \square 3 : \square \end{aligned}$$

これは本来、

$$\begin{aligned} & 1 \text{ 本} : 2 \text{ 本} \\ = & 3 \text{ 円} : 3 \text{ 円} \times 2 \end{aligned}$$

単位を略して

$$\begin{aligned} & 1 : 2 \\ = & 3 : \square 3 \times 2 = 6 \end{aligned}$$

本数が2倍になるので
値段も2倍になる、
ということで、
 $3 \times 2 = 6$ を求めたのが
2年生で習った掛け算の考え方です。
「比の一部分を示した」と考えると、

隠れていた **1** が明らかになり、
算数は良く分かる、
ということになります。